

AVVENZA

長くご愛用いただくためのお手入れ方法・注意事項

私たちが扱うプロダクトは、その一つひとつが特定の空間や用途に合わせて選ばれた「最良の素材」です。

本物志向の素材だからこそ持つ、それぞれの繊細な性質を正しくご理解いただくために

日常のケアと取扱上の注意点をご案内いたします。

素材の個性を慈しみ、長く使い続けるためのガイドとしてお役立てください。

■ オイルのシミについて（アロマストーンとしての特性）

天然石は吸水性が高いため、オイルは「シミ」として残ります。

しかしアロマストーンにおいては、この染み込みこそが香りを蓄え、石に深みと艶を与える「エイジング（経年変化）」となります。そのため、オイルのシミ抜きをする必要はありません。重なり合う香りの記憶とともに、変化していく質感をお楽しみください

■ 衝撃について

金属、砂、陶器の底などで細かな傷が入りやすく、強い衝撃や一点への荷重で「欠け」や「ひび割れ」が発生する恐れがあります。引きずり等の摩擦を避け、角部などの衝撃には特に注意してください。

■ シミ・変色に対する注意

大理石は微細な穴が多く吸水性が高いため、水分や油分が非常に染み込みやすい素材です。水、コーヒー、ワイン、油分などを放置すると、内部まで浸透し落ちないシミとなります。

■ 汚れの種類別・対処法

● 飲み物によるシミ

中性洗剤を水で薄め、柔らかい布で優しく拭き取ります。

落ちにくい場合は、重曹と水を混ぜたペーストを布につけ、優しく撫でるように拭いてください。

● 油汚れによるシミ

石材専用の研磨パウダーや石材還元剤を使用します。表面を軽く研磨することで、染み込んだ油分を取り除き、光沢を回復させます。

● カビ・茶色いシミ

研磨剤の成分率が20%未満の中性クレンザーを使用します。柔らかいスポンジに取り、力を入れすぎず優しく撫で洗いしてください。

■ シミ抜き実施時の注意点

※ 薬剤や洗浄剤を使用する際は、必ず目立たない場所で試し、変色や光沢の消失が起きないか確認してから全体に行ってください。

※ 上記の方法で改善されない頑固なシミについては、無理にこすらず、専門のクリーニング業者へ依頼することをお勧めします。

■ 酸性物質に対する注意

主成分が炭酸カルシウムであるため、酸に触れると表面が化学反応で溶けてしまいます。

レモン、酢、果汁、ワイン、酸性洗剤などが付着すると、表面が白く曇る（エッチング現象）ことがあります。

酸性の強いものを直接置かないよう注意してください。

浸透性吸水防止剤（例：AD スーパー）を使用することで、水分の浸透を抑制し、白華現象を防ぐことが可能です。